

主題：ローマ人への手紙第5章から第8章——聖書の核心

メッセージ 6

命の中で、天然、個人主義、分裂から救われる

聖書：Ⅱコリント3:15-18. ピリピ4:6-7. 使徒9:1-17. ヨハネ17:6-24

- I. わたしたちは命の中で、天然から、天然の性情から救われる必要があります。わたしたちは絶えず栄光の主の美しさを見つめて、日ごとに「栄光から栄光へ、主と同じかたちへと徐々に造り変えられていきますが、それはまさに主なる霊からです」の過程の中に自分自身を保つ必要があります——詩27:4. Ⅱコリント3:15-18:
- A. わたしたちの天然の性情は、わたしたちの自己です。それは、わたしたちの中にあり、わたしたちでもあります。实际的に言えば、自己を否むとは、まさにわたしたちの天然の性情を否むことです。クリスチャンとして、わたしたちは絶えずわたしたちの霊を活用して、わたしたちの自己を拒絶することによってキリストを生き、また別の命、すなわち、命の木によって表徴される、十字架につけられ、復活したキリストによって生きなければなりません——創2:9. ピリピ1:21前半. 啓2:7. Iペテロ2:24. Iテモテ4:7-8。
- B. わたしたちが生まれつき何であっても、良くても悪くても、役に立っても立たなくても、神聖な命をわたしたちの存在の中へと構成し込むことにおいて、聖霊にとって完全に妨げです。こういうわけで、わたしたちの天然の力、天然の知恵、天然の賢さ、天然の性情、天然の欠点、天然の美德、さらに、わたしたちの性格や習慣はすべて取り壊されなければなりません。それは、聖霊がわたしたちの中に新しい性情、新しい性格、新しい習慣、新しい美德、新しい属性を形づくるためです——テトス3:4-6. エゼキエル36:25-27。
- C. 再構成のわざを成し遂げるために、神の聖霊はわたしたちの内側で働いて、神聖な命をもって、わたしたちを照らし、啓発し、導き、浸透しています。彼はまたわたしたちの環境において働いて、わたしたちの状況においてあらゆる詳細、出来事、事柄を案配して、わたしたちの天然の存在のあらゆる面を取り壊します。それは、彼が神の長子であるキリストのかたちにわたしたちを同形化するためです——ローマ8:28-29。
- D. ヤコブの生涯が示しているのは、天然の人は砕かれることを経て、神の君イスラエルとならなければならないということです。わたしたちの環境を通して、神が取り壊すものは、わたしたちの価値のない自己、わたしたちの天然の性情です。しかし、神がわたしたちの中へと建造するのは、彼ご自身、すなわち比類のない、卓越した、比べることのできない、無限の方です——エペソ3:16-17前半. Iコリント3:12:
1. 神はヤコブに生涯格闘する生活を送ることを運命づけました。彼は主権をもってヤコブの生涯におけるあらゆる境遇、状況、人物を案配し、それらすべてが共に働いてヤコブの益となるようにならせました。その結果、彼は取って代わる者、かかとをつかむ者であるヤコブを、神の君イスラエルに造り変えることができま

した——創25:26. 32:24-32。

2. 「イスラエル」の意味は、「神と格闘する者」(28節)、「神の君」です。クリスチャン生活は神と格闘して、神によって神の君へと造り変えられる生活です——参照、ピリピ4:5-7, 11-13。

3. 造り変えは、キリストの神聖な命をわたしたちの存在の中へと加えて、キリストのかたちにおいて外側に表現されることによる、信者における神の命の新陳代謝的な機能です。イサク、リベカ、エサウは、ヤコブを造り変えの「かまど」の中に入れるために用いられ、ラバンとヤコブの妻たちはかまどの燃える「火」でした。ヤコブの歴史が示しているのは、神は主権をもって彼の選ばれた者たちの環境の各面を案配しているのは、彼らの内側で造り変えのわざを成し遂げるためであるということです——Ⅱコリント3:18. ローマ12:2. 8:28-30。

E. わたしたちは神の御顔を見つめ(創32:30. Ⅱコリント3:18. 4:6-7)、彼の御顔を尋ね求め(詩27:8, 4)、奉仕する供給としての彼の御顔を享受して(出25:30. 33:11前半)、キリストの御顔(パーソン)の中であらゆることを行ない、栄光から栄光へと造り変えられていきます(Ⅱコリント2:10. 参照、13:14)。三一の神がわたしたちの中へと分与されるとき、わたしたちは、わたしたちの恵みとしての三一の神の御顔と、わたしたちの平安としての彼の御顔の表情(民6:25-26)を持ちます:

1. 神を見ることは、神を得て、神で構成されることと等しいです——ヨブ42:5-6。

2. 神を見ることはわたしたちを造り変えます。なぜなら、神を見ることで、わたしたちは彼の要素をわたしたちの中へと受け、そしてわたしたちの古い要素が排出されるからです——Ⅱコリント3:18. ローマ12:2。

F. わたしたちはどのような環境や状況や境遇においても、造り変えられ、すなわち、わたしたちの天然の命において新陳代謝的に変えられることの秘訣として、キリストを学ぶ必要があります(ピリピ4:12)。この実際的で簡潔な秘訣は、6節と7節にあります。「何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることが伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい。そうすれば、人知をはるかに超えた神の平安が、あなたがたの心と思考を、キリスト・イエスの中で護衛してくださいます」(参照、配布資料:「神の救いの有機的な面、第4章からの抜粋」)。

II. わたしたちは命の中で、個人主義から救われる必要があります。アダムにあるすべての者は、別々の個人として生きています。キリストにあっては、個人主義的なものはすべて除外されます。もしからだの生活を知りたければ、わたしたちは罪深い生活と天然の生活からだけでなく、わたしたちの個人主義的な生活からも解放される必要があります:

A. 罪はキリストを見ることからわたしたちを妨げ、天然の命はからだを見ることからわたしたちを妨げます。わたしたちはみなキリストのからだにおける自分たちの立場を見なければなりません。もしからだにおける自分の立場を真に見るなら、あたかももう一度救われたかのようにでしょう——Ⅰコリント12:18, 24-25。

B. 御父は世に相對し(Ⅰヨハネ2:15)、主は悪魔に相對し(ヘブル2:14)、その霊は

- 肉に相對し（ガラテヤ5:17）、からだは個人に相對します（Iコリント12:21）。人がキリストのからだを見るとすぐに、個人主義から解放されます。すなわち、もはや自分自身のためではなく、からだのために生きています。
- C. キリストのからだは教理ではなく領域です。それは教えではなく命です。啓示だけがわたしたちをからだの領域と実際の中へもたらし、その時、初めて、キリストのからだはわたしたちの経験となります。
- D. 自分がキリストの肢体であることを見た者たちは、必ずからだを大切にし、他の肢体を尊びます。彼らは自分自身の美徳だけを見ません。彼らはすぐに他の人たちが自分よりも優れていることを見ます。
- E. からだの啓示がある所はどこでも、からだの意識があります。からだの意識がある所はどこでも、個人の考えや行動は自動的に除外されます。わたしたちがからだを見るとすぐに、個人としてのわたしたちの生活と働きは終わり、わたしたちはからだの一の命じられた祝福の中へと入ります——詩133:1-3。
- F. からだの一つの機能は、すべての肢体を保護することです（エペソ6:10-20、申32:30）。また、孤立した個人は欺かれやすいので、わたしたちは彼の助言を求めることによって（ヨシュア9:14）、からだのかしらであるキリストを尊ぶだけでなく、常にからだの肢体仲間にも相談すべきです（使徒22:10、箴27:17）。
- G. キリストのからだはすべての肢体にとって制限でもあります。わたしたちは他の兄弟姉妹たちとブレンディングされることを学ぶべきです。個人の性情と特異性は召会の中に入る余地がありません。また、すべての肢体は他の肢体の機能と度量を尊び、自分自身の機能と度量には忠信であるべきです。こういうわけで、嫉妬心や野心はなくなり、人にできることを自分も切望することはなくなるでしょう——IIコリント10:13-14、ガラテヤ5:25-26、歴代下26:16-21。
- H. 主がご自身をパウロに、パウロの中に啓示した日に、主は彼にからだの啓示と、からだの原則を示しました——使徒9:1-17。
- I. わたしたちの生活と奉仕は、からだの中で、からだを通して、からだのためであるべきです。どうか主がわたしたちを個人主義からからだの中へと救ってくださいますように。また、わたしたちが、キリストの享受と経験に基づく務めをもって彼のからだに仕えることができますように。
- III. わたしたちは命の中で、分裂から救われる必要があります。主の回復においてわたしたちが直面してきた問題の多くの内在的性質とは、ヨハネ第17章に啓示された真正な一についての正しい理解の欠如によります：
- A. 一の第一水準は、御父の名における、御父の神聖な命による一です。御父の名は、一の源である御父のパーソン、命の源である御父ご自身を表しています——6-13節、5:26, 43：
- わたしたちは御父を命の、祝福の源として取らなければなりません。わたしたちは人の命によって生きるのではなく、わたしたちの霊の中の御父の神聖な命によって生きて、わたしたちのすべてを含む子たる身分を享受しなければなりません——参照、マタイ14:19、ローマ11:36、ヨハネ6:57、ローマ8:15-16。
 - 御父の性質を伴う命は一の要素です——ヨハネ17:2。参照、エペソ1:4-5、ヘブ

ル2:10-11. I コリント6:17。

- B. 一の第二水準は、聖別する言の実際における一です——ヨハネ17:14-21：
1. 御父の言は真理であり（17節）、真理は三一の神です（14:6. I ヨハネ5:6後半）。言の実際によって聖別されることは、三一の神ご自身によって聖別されることです。
 2. 真理である言は神の民を世から聖別し（17:17）、世の支配である、あの邪悪な者から彼らを守ります（15節）：
 - a. 御父の実際の言はわたしたちを聖別し、わたしたちを純粋にして、混乱した世から救い出し、純潔の神である、わたしたちの神へとわたしたちを分離します。人が神の言の中にいればいるほど、ますます純粋になります——詩12:6. 119:140。
 - b. 御父の聖別する言は、わたしたちの一の手段であって、わたしたちを一の領域の中にもたらしめます——ヨハネ17:21. エペソ5:26。
- C. 一の第三水準は、手順を経て、ミングリングされ、合併された三一の神の表現となる神聖な栄光における一です——ヨハネ17:22-24：
1. 神聖な栄光におけるすべての信者の一は、御父の命と性質をもって表現された子たる身分における一です——22節. 5:26。
 2. 神の栄光は、神の表現です。この神性のすばらしい表現は、わたしたちを自己から救い出し、完全に一とならせます——参照、啓21:11。
 3. この一の段階において、自己は完全に否まれます。わたしたちは、野心、うぬぼれ、意見、観念を含む、わたしたちの自己から救われなければなりません——ヨハネ17:21-23. ローマ5:10. I コリント1:10-13. III ヨハネ9：
 - a. もし自己を放棄し、自己を失い、霊に戻るなら、わたしたちは直ちにからだの実際の中にいるでしょう。もしわたしたちの性質を伴う命によって生きて、自分自身を表現するなら、神の栄光はないでしょう。自分自身の表現には、分裂があります——エペソ2:22. ヨハネ16:13。
 - b. 御父の性質を伴う御父の命の中で生き行動して御父を表現することは栄光であり、この栄光において、わたしたちはみな一です。わたしたちのクリスチャン生活は「栄光から栄光へと至る」生活であるべきです——II コリント3:16-18。
- D. 主がわたしたちに与えた一を維持するために、わたしたちは絶えず三一の神とミングリングされて（こうして、天然の人、サタンを伴う世、自己は無にされる）、主の願いを満たす必要があります——エペソ4:1-6。

造り変えられることの秘訣としてのキリストを学び、キリストを生き、キリストを表現する

わたしたちは日常生活に問題を持つ時、人からのアドバイスを求めてはいけません。なぜなら、わたしたちは内側に霊を持っており、その霊としての主がわたしたちの霊の中に住んでいて、わたしたちにとっても近いからです。わたしたちは彼にすべてのことを尋ねることができ、電話やファックスを使う必要はなく、彼は内側でわたしたちと話することができます。あなたはあらゆる事で彼と話し合い、相談することができます。主の言葉は言います、「何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることを伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい」(ピリピ四・六)。ですから、何か問題があるなら、ただ彼に告げる必要があります。彼はあなたの中において、あなたと面と向かっておられます。三一の神、父、子、霊はわたしたちの中において、わたしたちを煩わせているのではなく、わたしたちのパラクレート、慰め主、支える方となっております。わたしはいつも祈ります、「主よ、今わたしは歩こうとしています。わたしを支え、維持し、強めてください」。これは主を飲むことです。こうして、わたしには心配はありません。心配がやって来る時、あなたは言うべきです、「主よ、この心配はあなたのものであって、わたしのものではありません。わたしはそれをあなたに与えます。なぜなら、あなたはわたしに代わってそれを担ってくださるからです」。こうして、あなたは主の要素を内側に受け入れ、あなたの内側で常に新陳代謝が作用します。その結果、あなたから外側に現れ出るのはキリストです。これがキリストを生きることです。この秘訣を知らない人は、キリストを生きるのは難しいことであると考えます。実は、あなたはただ主と語ることを実行する必要があるだけです。そうすれば、自然にキリストを生きるでしょう。(神の救いの有機的な面、第4章)